

土木技術映像委員会による土木技術貴重映像の活用について

土木学会土木技術映像委員会 ○正会員 瀧川 正一

土木学会土木技術映像委員会 正会員 榊山 清人

1. 目的

平成30年3月、(公)土木学会土木技術映像委員会主催の第99回イブニングシアターにおいて、地下鉄銀座線建設の様子を記録した映像による「日本初の地下鉄建設」を公開した。土木学会土木技術映像委員会は、貴重な土木技術映像作品を網羅的に調査・収集・整理、多様な角度から評価し、容易に利用可能な環境を整備し、あらゆる機会を通じて公開・発信する場を設ける活動を行っているが、過去には「勝鬨橋 復刻映像」及び「昭和14年秋田県男鹿地方地震の被害」などの貴重映像をデジタルリマスターの上保存、公開を行うことにより、貴重映像の活用を図っている。本論文では貴重映像の活用の状況と今後の課題について述べる。

2. 「勝鬨橋 復刻映像」の活用

土木学会土木技術映像委員会（以下 同委員会）の前身である土木文化映画委員会初代委員長、金森誠之氏のご遺族から土木学会に提供を受け、土木学会土木図書館に保存されていたフィルムを、同委員会で調査したところ、土木文化映画委員会により撮影された昭和15年完成直前の勝鬨橋の跳開部の開閉及びその構造等を記録した貴重な映像であることが判明した。

同映像については土木学会から東京都に複製を寄贈し、東京都が企画、同委員会で編集の上、同委員会主催の「イブニングシアター」や土木学会全国大会映画会で上映し、多くの人に見ていただく機会を設けている。また同委員会HPの「土木技術映像配信サイト」及び土木学会100周年記念事業の一環として配信を開始した「土木デジタルミュージアム：土木学会が創った映画」でも公開している。同作品はDVD化し土木図書館及び提供した公立図書館での利用も可能としている。東京都では「東京の橋 パネル展」（平成25年開催）の際に上映を行い、また元勝鬨橋変電所の建物を利用した「かちどき 橋の資料館」で常時同映像を上映し、訪れる見学者に公開している。

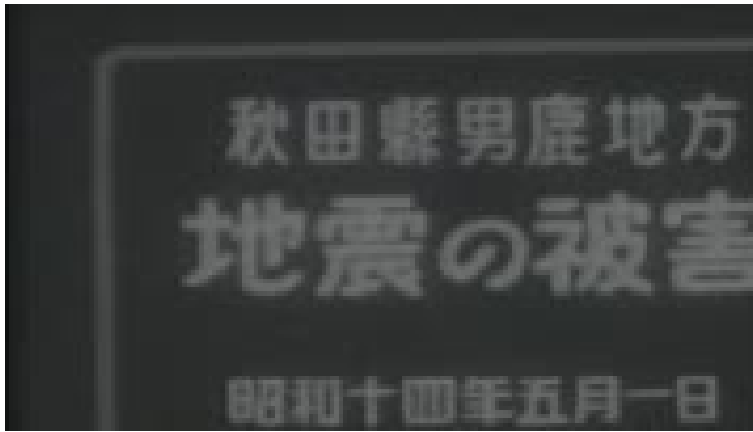


「勝鬨橋 復刻映像」より

3. 「昭和14年秋田県男鹿地方地震の被害」の活用

やはり土木文化映画委員会初代委員長、金森誠之氏のご遺族から土木学会に提供され土木図書館に保存されていた、昭和14年5月1日に発生した秋田県男鹿地震発災直後の様子を記録した映像については、土木学会理事会の決定により派遣された調査団に加わった土木文化映画委員会により撮影されていた男鹿地震の発災キーワード 貴重映像、勝鬨橋、男鹿地震、イブニングシアター、土木技術映像配信サイト、

連絡先 〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園（公社）土木学会附属図書館 TEL 03-3355-3596



「昭和 14 年秋田県男鹿地方 地震の被害」より

直後の被害状況を記録したもので、数少ない男鹿地震の被災状況を記録した貴重映像であり、デジタルリマスターの上、「イブニングシアター」や全国大会映画会及び「土木技術映像配信サイト」「土木デジタルミュージアム：土木学会が創った映画」でも公開した。また同映像は秋田県男鹿市船川港の「男鹿半島・大潟ジオ・パーク」公式 HP にもリンクされ視聴することができる。平成 28 年には男鹿地震の発災地である秋田県で「土木技術映像アフタヌーンシアター2016in 秋田」を開催し同映像を上映、参加した地元の方々からも大きな反響があった。

4. まとめ

映像が持つ情報量は、活字のそれに比し膨大であり、過去のプロジェクトを記録した映像の活用は、文献や当時の関係者の証言に頼っていた検証作業の促進に繋がる。最新技術もこれまでの技術革新の積み重ねであることを鑑みれば、その原点を検証するにあたり映像を活用するのは有効であると考ええる。災害映像での被災状況を伝える映像は、文献・伝聞以上に素早く見る人に危険を訴え、それに備えることの重要性を悟らせる力を持つ。また過去の災害映像は、今日目にする街並みが、過去の災害を克服し再建されてきたことを直接伝える効果もある。同委員会は上記 2 つの貴重映像について機会を捉え、イブニングシアター等の上映会やウェブサイトでの公開及び公立図書館等への映像の提供を通じて発信してきた。今後も研究機関や専門博物館、貴重映像を保存・活用する団体等との提携等による活用の場を広げる方策を検討していきたい。災害記録映像などは、教育現場や地域コミュニティーへ解説者を派遣しての上映の促進などによる活用の促進を一層図っていくことも検討していきたい。今年完成した「日本初の地下鉄建設」についても、上記 2 作品とともに積極的に活用の場を設けていきたい。なお、収集した最近の土木技術映像も、時がたてば歴史的価値が生じるということを認識し、その保存・活用を行い、その方法とともに次世代に繋げていくことが必要である。

参考文献等

- ・坂本真至 2015「戦前の土木技術映像「勝鬨橋」の復刻」『東京人』 marchi 2015 no.351 都市出版
- ・(公)土木学会土木技術映像委員会編 (2014)「土木映画の 100 年」言視舎
- ・土木学会 土木技術映像委員会ホームページ <<http://committees.jsce.or.jp/avc/>>
- ・土木学会 土木技術映像委員会 「土木技術映像配信サイト」, <<http://jsce.metamovics.jp/>>
- ・土木学会 土木デジタルミュージアム：土木学会が創った映画 <<http://committees.jsce.or.jp/avc/node/566>>
- ・男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会ホームページ (2016)「男鹿地震（昭和 14 年 5 月 1 日）を知る」, <<http://www.oga-ogata-geo.jp/blog/news/9549.html>>